平成30年7月10日

平成30年度　第１回静岡県パートナーシップ委員会議事録

静岡県パートナーシップ委員会事務局
（静岡県くらし・環境部県民生活課）

１　**開催日時**　平成30年６月25日（月）午後２時から４時まで

２　**場　　所**　ふじのくにＮＰＯ活動センター
（静岡市駿河区南町14-1　水の森ビル２階）

３　**出席者等**

委員	８名	別紙１のとおり
事務局	７名	
傍聴	９名	ＮＰＯ関係５名、行政関係４名
報道関係	０名	

４　**議事の経過**

14:00　開会

14:01　挨拶　静岡県くらし・環境部県民生活局　竹内局長

14:02　定足数の確認

11名の委員中８名の出席により、静岡県パートナーシップ委員会設置要綱第６条第２項の規定に基づき委員会の成立を確認

14:03　委員長・副委員長選出

静岡県パートナーシップ委員会設置要綱第５条第２項に基づき、委員の互選により委員長に日詰委員、副委員長に桧森委員を選出

14:08　議事(1)報告事項　「ふじのくに協働の推進に向けた基本指針」に基づく施策の進捗状況

事務局より資料１に基づき、平成29年度のふじのくにＮＰＯ活動センター（ＦＮＣ）の業務実施状況、平成30年度の業務計画等について説明

（説明概要）

・ＮＰＯ法人数の伸びが鈍化する一方、一般社団法人の数が増加
・平成28年度のＦＮＣのあり方検討の結果に基づき、平成29年度は協働・ＮＰＯ活動に係る情報発信や市町の市民活動センタースタッフ等の人材育成を中心に業務を実施
・平成30年度は浜松市に設置していた西部ＦＮＣを廃止し業務の効率化を図るとともに、伊豆地域の中間支援のあり方検討に向けたワークショップや若者、企業等への普及啓発を重点的に実施
・施策の進捗管理指標については、平成28年度の数字が判明。ＮＰＯ法人の年間総事業費は増加したが、年間収入2,000万円以上の法人数、収入に占める寄附金額の割合は減少

報告事項に対する質疑応答はなし。

14:30　議事(2)意見交換　伊豆地域における中間支援のあり方について

事務局から配布資料（資料２）により説明

(説明概要)

・伊豆地域の中間支援のあり方の検討内容は将来的にどのように地域の中間支援体制を整備していくかという課題と、それまでの間、県はどのように市町を補完して同地域のＮＰＯ活動を支援するかという課題の２つに大別できる。

・将来的な地域の中間支援体制の整備は地域の特性や団体の課題、支援ニーズ等を十分確認した上で、市町や市民活動団体と共に多角的に検討していくべき課題である。

・地域の中間支援体制が整備されるまでの間の県の中間支援施策については、29年度の東部ＦＮＣの業務の状況等を踏まえ、拠点の必要性を含めたより効率的・効果的なあり方を検討する必要がある。

・これらの課題について、今年度は伊豆地域の市町やＮＰＯなど市民活動団体を対象としたワークショップを開催して意見交換や情報収集を行い、本委員会で検討を進めたい。

15:00　質疑応答及び意見交換

調査結果の説明を受けて、質疑応答及び意見交換を行った（詳細は別紙２を参照）。

【意見交換結果の概要】

・まずは伊豆地域の市町に、市民活動の活性化や協働が地域づくりを進める上で有効であることをもっと知ってもらう必要がある。

・ＮＰＯだけでなく、地縁団体等も含めて地域の課題やまちづくりに係る情報が地域内で共有化されるしくみが作られるような方向性が求められる。

・地域の中間支援体制づくりは中長期的に検討が必要な課題である。

・東部ＦＮＣの見直しについては、現時点では当面は現状を維持すべきとする意見と業務の統合・拠点の廃止を進めるべきという意見があり、今年度中を目途に方向性を取りまとめることを目指す。

16:00　閉会